

# めだかの学校だより

平成21年5月1日  
第64号

学舎：東久留女木新田観音山  
「みどりの郷キャンプ場」内  
事務局：静岡県磐田市  
家田 529-20  
TEL0539-62-6691

## 校長訓話

第六十四回 校長 間瀬 亮太

3月6日の午前中。私は静岡で1本の電話を受け取りました。それがドタバタ劇の始まりでした。今日めだかの先生という大役を任されている日。こんな日に仕事のトラブルが発生。急遽、私は名古屋へ行かなければならなくなりました。これは大変なことになったと思っただけは、榊原メダカにすぐに連絡をしました。電話をかけるいつもの明るい声で「わかった、他の誰かに頼んでみる」との事。当日のドタバタキャンなのに、あまりにも榊原メダカのあっさりとした返事にビックリしたので覚えていません。そして、当日にいきなり代役の先生をして頂いた鈴木メダカに感謝です。どんな場面にも落ち着いて柔軟に対応できるめだかの生徒の皆さんはとてもしっかりよかったです。よく「めだかの学校」は変な人のあつまりとみなさんが口をそろえて言います。私も同感です(笑)が、ただの変な人の集まりではない事を改めて感じる事が出来ました。そして、

せめてもの罪滅ぼしではないですが、「何でもやります。」と榊原メダカに伝えたところ・・・、やっぱりきました校長先生！私はもちろん喜んでお受けしました。

さて、話しは変わりますが昨年の10月ごろから新しい活動を始めました。それは、地元の小学生にミニバスケットボールを教えること、地元少年団のコーチを引き受けました。しかも女子の指導！これがまた男の私にとっては難しいところ。ついつい自分でも気づかないうちに男目線で教えてしまうことも・・・。

方針としては、まずはあいさつ・返事の礼儀を学び、次にバスケットボールを楽しく好きになる、最後にチーム一丸となり勝つ喜びと負ける悔しさなどを学ぶことです。実際は私が教えている立場ですが、子供からいろいろな事を教わっているように思います。子供たちの頑張っている姿を見ると自分も頑張らないといけないと思いますし、なによりパワー・元気を貰っています。子供たちが真剣である以上、私も真正面からぶつかっています。

そんな中、先日(5月10日)新チー

ムでの初めての公式戦がありました。この日は予選が行われ、私のチームはCグループ2位で予選を突破しました。1位で通過したチームには惜しくも負けてしまいました。チームの目標として練習をしてきた相手だけに、選手はもちらんコーチや父兄も悔しい思いをししました。悔しがつてばかりはいられませんので、気持ちは5月17日に行われる決勝トーナメントへ切り替えます。目標はトーナメントを勝ち抜いてリベンジです。便りが皆さんの所へ届く頃には結果が出ていられるかもしれませんが、良い報告をめだかの学校で出来るよう最善を尽くしたいと思えます。

「勝ったら子供たちの力、

負けたらコーチの力不足」

子供たちが自ら考えてやるバスケットボールをモットーに私も生徒も成長していきたいと思えます。

めだかの学校についても、こんな若造が何かできるわけでもありませんが、引き続きお付き合い、先輩方のアドバイスを頂けたら幸いです。

それでは、

『第六十四回  
めだかの学校を開校します！』



## めだかの学校伝言板

——第64回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

校長/間瀬亮太

教頭/増田みさ子

用務員/鈴木祐之

給食係/大谷洋介・山中幸子・古田賢二郎

水野忠義・今村純子・加藤ひとみ・西川裕子

本間稔・萩田博・湯浅明美・渡辺三ツ子(チーフ)

<学舎> 静岡県浜松市北区引佐町東久留女木観音山

みどりの郷キャンプ場 TEL なし

開校日/平成21年6月5日(金) 6:20PMより

受付/魚田和宏・北島多江子・土井堅史・斉藤昭(後見人)

<時間割>

～16期は『自助と共助』共に助け・助けられるとは～

今回のテーマ「とびだそう富士山静岡空港」

●1時間目 社会 古田賢二郎先生

「立ち木とKOJIKI」

●2時間目 理科 水島加寿代先生

「立ち木と売木と富士山静岡空港」

●3時間目 美術 石野省三先生

「立ち木にからまる風、そして大空へ」

●給食の時間～旬のお楽しみご膳～(お箸はマイ箸、持参を)

10:15 閉校

# めだかの動き

## 泳ぎ回るめだかたち

### ■公民館まつりに

1000余人の大にぎわい  
 磐田市敷地の磐田市立豊岡東公民館で、3月29日の日曜日、開館一周年記念の『公民館まつり』が開かれた。延べ1000人以上の人で賑わった。

この「公民館まつり」予算はゼロ。実行委員のみなさんも小銭持って来て！なのである。手打ちソバ、カレー、コーヒ、焼芋などで資金を作るという仕様。まさに「めだか流」。そう、そばとカレー班は、鈴木正士・松本芳広・石野省三・中川泰・渡辺ミツ子メダカら。コーヒーショッブは榊原明美とリンデンbaum班、焼芋は伊藤英雄メダカ、綿菓子と餅つきは深澤明男メダカ。それに演芸部門の盛り上げ役は藤田潤吉・久枝・八木正子メダカらの浜松花蝶ちゃん、マジックショーは世田新造メダカ、館長の榊原幸雄メダカは人形劇。展示の責任者は田村進治新メダカらと言った具合。地域の人たちといっしょに大奮闘。手打ちそば茹で役の石野メダカ「腫れ物になっちゃうヨ」。75食の予定が130食と休む暇もなし。「館長、カレーはあるがご飯がもうない」「エー、もうないの?」。急遽お米を買いに行く始末。焼芋も1000本用意したが屋ごころには完売。コーヒー豆も1.5キロ全てなし。おかげ様で、お礼や経費を支払っても5000円ほど浮いた。

それにしても、地域の人や行政の人たちまでが、演芸や展示の飾りつけ、食べもの、駐車場の整理など、準備から片付けまで、資金のない「公民館まつり」を盛り上げて

くれた。まさに『無私心』の集大成のよきな「公民館まつり」。感動と感激の輪の広がりを美観した1日であった。「お父さん良かったね」の言葉に涙ぐむ館長の1日でもあった。

### ■恒例の大平荘

#### お茶摘み会とコンサート

4月25日(土) 磐田市大平の鈴木正士メダカの大平荘には、雨にもかかわらず東京・神奈川・和歌山などからも参加して大にぎわい。お茶摘みとたけのこ掘りとわらびとりと野草とり。煮物・野草のてんぷら・豚肉の炭火焼など手づくり料理がいっぱい。きわめつけは正士メダカと中嶋豊メダカの手打ちそば。こちらも又、尾上美智子・鈴木真弓・三輪邦子・鈴木武史・村松達雄・深谷孝メダカらが、あれやこれやと遠方から参加の皆さんとワイワイガヤガヤ。お腹もいっぱいになったところでチェロとバイオリンとマリンパのクラシックコンサート。やっぱり生演奏はいいねえ。参加できなかった人は、来年4月の最終土曜日ですよ。忘れずに。正士ごだわりのお茶のご注文は、0539・62・3428まで。

### ■泳ぎまわるメダカは

#### これだけではない

4月3、4、5の3日間、掛川市横須賀では、三熊野神社大祭で、めだかの祭男たちは舞い踊り。4、5日には、浜松市北区細江町の姫様道中、桜の花のもと、併催された「ゆかいな文化展」で、大橋町代・耳塚信博・上嶋裕志メダカらが活躍。森町では第9回蔵展が街並みを榊原淑友・村松達雄・太田康雄・亀澤進・松下信久・服部守孝のメダカたちが森の街中を賑やかす。4月12日の日曜日には、浜松市天竜区春野町の尾上美智子邸で、オープン

ガーデンの春野二胡二胡コンサートの催しが、こちらでもメダカ生が大活躍。お互いに、支えあって地域を盛り上げる。「仲間っていいなア」とつくづく思う。でも、これはホンの一部紹介しただけです。

### ■「初倉倶楽部」誕生!

#### 初会合

島田市は、富士山静岡空港東側近くの、初倉メダカ生たちが、「初倉倶楽部」を立ち上げた。池谷俊裕・岩本伴江・黄瀬川はつ枝の元気印のメダカ生。地域の人に呼びかけて、4月の第一金曜日夜七時から、島田市在住のコケの世界権威のコケ博士を招いてお話を聞いた。10人が参加。お茶付きで400円。お茶どころだけある。エッ、「どうしてコケだつて?」先ずはコケないことからですよ、ハイ。ほんとかなア。

次回は、6月の第二金曜日(第一金曜日)はめだかの学校があるため。内容は「裁判員制度」について。

### ■めだかの学校から

#### 四人の議員さん誕生

おめでどう! 21年4月19日投票の、二統一地方選挙で、磐田市の市議に小野泰弘メダカ、森町の町議に太田康雄、榊原淑友、亀澤進の3メダカ。小野メダカ、実績NO1をうたい文句に立候補。実績通りに当選。太田メダカは、町長選での知名度と村松達雄メダカからの応援もありトップ当選。榊原淑友メダカ、亀澤進メダカは下位当選ながら、地域における貢献度は上位でしょう。特異は亀澤メダカの、歩いて歩いて山の中まで、思いを説いてのエコ選挙活動。新聞配達で鍛えられた体力は、まさに、これからも森町は元気でぞ。

### ■第7回「全国まちづくり交流会

#### 「二見浦」

#### 「まちづくり、大いに語ろう、考えよう」

夫婦岩で知られる三重県伊勢市の二見浦で、6月20日(土)〜22日(月)の3日間、朝日館・寶日館を会場に開催される。出歩けば面白い人になつかる。昨年秋季の足助では、石野省三メダカら8人が参加。2台の車に分乗して出かける。今年も行く予定。

6月20日(土) 18:00前夜祭(朝日館)、20:30二見夜なべ談義。21日(日) 3:30夏至祭(裸ぎは希望者)二見興玉神社。8:30エキスカッション(前泊者)二見伊勢神宮。おはらいまち一寶日館。伊勢神宮では正式参拝。上着とネクタイ必要。

13:00全国まちづくり交流会受付(於寶日館)。13:30第7回まちづくり交流会。13:45基調講演「地域が元気になる町づくり」堀繁(東京大学アジア生物資源環境研究センター教授)。14:45活動グループ報告、休憩のあと、15:45シンポジウム。17:00終了。会場を二見ブラザに移して、交流会。20:30交流会第二ステージ「朝までトーク」は、各宿舎で。22日(月)解散。

会費は、一泊朝食で6,300円。前夜祭3000円。交流会費5000円。裸ぎ料2000円、夜なべ談義、朝までトークは実費。希望者は、事務局榊原幸雄まで。全日参加か、21日参加か、いろいろあるのでご連絡を!。申し込み期日は5月15日(金)。0539・62・6691 TEL又はFAXで。※締切りすぎますが、交渉します。

■学舎の草刈り・清掃

5月31日(日)朝9時から、学舎の草刈りと、清掃を行います。今回は、6月7日(日)に、地元自治会の皆さんが「不必要なものは処分して綺麗にする」ということもあり、その前にめだかの学校のもの整理する必要があるため、多くの生徒の参加をお願いします。草刈りのできる人は草刈り機を、清掃の人は、掃除のできる服装で。お弁当持参でお願いします。

『人・ひと・ヒト』だより

●浜松市の大谷洋介メダカと磐田市の大貫正信メダカ。珍道中よろしく和歌山県木の国龍神の真砂典明メダカを訪問。浜松を午前9時に出て午後4時に着。一泊し翌日は高野山巡りして帰宅。木の国龍神は遠い真砂さん、よく登校してくれるなアと感心することしきり。

●磐田市の井上啓子メダカと浜松市の高木初美メダカから主宰の『ガ』法人ガラ紡愛好会の「がらぼうだより」が届く。浜松市との協働事業として「ガラ紡っていいね、第4弾」を年間を通して行なう。4月18日には和綿の種まきをした。

●磐田市の今村純子メダカ。セブンティーンになっても元気はつらつ。見付宿衛並み文化展でも、世話人のひとりとして活躍。パソコンもはじめたヨ。

●浜松市浜北区の岡本公子メダカ。闘病中だがいつも心配りして応援してくれている。登校できなくても、思いの強さはまさにめだか生。待ってますヨ。

●磐田市の川島安一メダカ。多忙なうえに今年の4月からは連合自治会の福田地区長とか。農のある風景の厳しい現実。うらからしつかりと支えつつけてくださいヨ。

●浜松市天竜区の本島慎一郎メダカ。『天竜法人会を耕す会の事務局長として、『天竜村を使って山を守る』運動の熱意は衰えず。

●藤枝市の小嶋良之メダカ。文化サロン、俳句会、文化の風、カルチャーサロン、古代の知恵を学ぶ会、まちづくりネット藤枝etc。毎週FM島田の番組も担当だつて。多忙もいいけど、早く嫁さんね。

●森町の田邊哲メダカ。志農工商サミット、首なしサミット、フトモモコンテスト、マタニティチンドン講座、限界集落から引き取り先のないB級神様、仏様の下取りシステムetcと、並みの発想ではない。彼が言う「出来そう」と思うから、まさに「笑(えん)」だね。

●中津川市の早川裕康メダカ。とうとう50。振り返らず、立ち止まらず。『とんからしらすみそ』など特産品を企画して、メディアにのせて情報発信。小さなスーパーの生き残り戦略。まさに良し！

●浜松市浜北区の松本泰榮メダカ。昨年は自治会長として集会所の建設やら何やらと多忙を極めた。4月に開放されて「めだかの学校にも行けるゾ」と。開校日にはデザートありがとう。

●岐阜県坂祝町のそば打ち達人の長谷川政夫メダカ。すべて素材につまみ。と、そば打ちばかりでなく石臼製粉、ソバ栽培と独学向上。緑肥用にソバ畑に菜の花咲かせ

て、油しぼり、廃油からトラクター走らせた、だつて。

●浜松市の水島加寿代メダカ。5月30・31日のしらびそ高原山開きイベントに頼まれて、浜松の風揚げチームが協力。2,000mにamiの風もあがりますヨ。

※ 新入生の紹介をします。

●袋井市の山中幸子メダカ。ガーデニングが好き。開校15周年記念誌をみて、一抹の不安はあったが入校しました。

●浜松市の早田光雄メダカ。建築業、お好み焼き、カイロプラクティスにて健康アドバイザーも。ダイナミックにて優しいだつて。

●磐田市の田村進治メダカ。『三』の電話技術畑を歩いて退職。木が好きで、日曜大工昇じてなんと2年かけて家を造ってしまつた。自治会豊岡支部北地区長。「公民館まつり」では、大きな支え役でした。

●浜松市西区の北島多江子メダカ。平成20年6月に「パステル和(NAGOMI)アート」を開講。パステルをカッター等で削り、指で描くアートですつて。

●浜松市中区に加藤ひとみメダカ。ズーと仕事と子育て、生活に追われる毎日でした。かつては映画や本や編み物が好き。好奇心旺盛で入校しました。

●浜松市舞阪町の魚田和宏メダカ。浜北区で建築工房をやっている。カメラとゴルフが趣味。古田メダカや鈴木祐之メダカからの異業種交流会のメンバー。

●磐田市の村田徳治メダカ。人・自然・地球にやさしいワークシヨップ、ふるさと発見ウオークなどやりたい。ホームページ、SNC、制作、運営。遠州こたわりネットワークも運営しています。

●東京のかまよしろうメダカは、トピックスにて紹介。

■にんべんのついた建築家関原宏昭さんから、琉球新報掲載コラム『南風』のFAXと手紙が届く。今春から沖縄国際大学院地域文化科で授業を受け持つとのこと。面白い元氣印の人。コラム抜粋して載せます。

どの分野でも同じことだが、現場に居ることなく本質はつかめない。地域の保健、医療、福祉事業はもろんのこと、住民とだけ同じ時間、空間を過ごすかによる。問題に対処するだけでは元氣にならない。静岡県に「おもしろ人立めだかの学校」という元氣なグループがある。いろんな職種の人が集い…ある時は寺子屋、ある時はフィールドワークといった大人たちの自然体の空間。一人ひとり、メダカの学校・仲間を必要かつ大切に思う心が十六年間続いている原動力だ。

六月には富士山静岡空港が開港。沖縄線の定期便もある。静岡県の皆さんとも、健康・交流時間」を過」していきたい。

と。相当省略してしまつたが、お救しを。

「お知らせ」

このところ『めだか春秋』を記事量の都合で休んでいるが、こうした交流のある全国の面白人、なかなか出席できないメダカ生の楽しい投稿コーナーにしたい。乞うご期待！

# トピックス

■ご存知でしたか、静岡新聞朝刊の四コママンガ『ゴンちゃん』の作者はめだか生一

ある日、磐田市(旧豊岡村)出身で、東京都在住の、かまちよしひろさんから『カピカの一年生』、温かな絵入りの葉書が届く。2月に「めだかの学校」入校、新一年生の意味かと思っていたら、4月1日の静岡新聞朝刊に、かまちよしひろさんの『ゴンちゃん』が掲載されていた。まさにオツですね。

かまちよしひろさんとの、ご縁のキッカケは、昨年11月に磐田市文化協会豊岡支部が主催で開催した『みんなの文化展』の会場でした。かまちさんは、似顔絵の指導をしていました。たまたまのぞき、名刺交換したのが始まりでした。名刺をいただく、すぐ「めだかの便り」送るのがバラ流。ちようど送ったのが「伊藤英雄校長の「めだかの便り」。伊藤さんにそんなことがあったんですか。私は漫画しか書けませんが入校させてください。伊藤さんによろしくお伝えください。」の返事。伊藤さんが喜んだの言うまでもありません。ご縁って不思議ですね。

## ■事務局だより

新緑の季節。美味しいお茶をいただきたい・・・  
5月4日、鈴木正士メダカのところへ明美さんといっしょにお茶の袋詰めのお手伝い。大きな袋を開けると、正士メダカこ

わりのやぶきた深蒸し茶の香りがぷんぷんに癒し。そして一煎二煎。それからが戦い。こだわりの農業の厳しさ、まさに実感しました。

さて、第63回めだかの学校は、3月6日。校長藤野はつ枝、教頭加藤直樹、用務員に大賞正信。事務局の榎原幸雄メダカ、連合自治会の会合で大幅遅刻のため、伊藤英雄、榎原淑友メダカに進行まじめ役を頼む。一時間目、間瀬亮太先生「静岡が空港を凌駕する」。前日、「仕事のトラブルで出席できそうもない」の電話。止むを得なさと。代役は誰にしようか、と思案中のごころへ鈴木正士メダカから電話。「ちようど良かった。前回のバツとして先生頼むヨ」。まさにいいタイミング。当日は、授業の間帯にバラメダカおらず、伊藤英雄メダカに聞くことに。鈴木正士先生「猫の手でも借りたい人に、「猫の手よりもマシな応援を」の猫の手クラブに勇気づけられた話」。2時間目、尾上美智子先生「過疎化の進む集落に、人を呼び込むと自宅を中心に広大な庭園作り」に励む心意気を。3時間目、亀澤進先生「町並みに潤いを、と始めた「森ほたる」が、町内の共感を呼び、賞を受賞」。校長訓話「脱サラしてソバ店を開業した夫のパートナーとしての心を」。お待ちかねの給食、給食当番の欠席者が多く、調理にてんてこ舞い。早めに登校した人が続々と応援に参加してくれて、見事な「ひな御膳」が・・・伊藤英雄メダカ、何とか思い出してくれた。服部孝メダカに助けを求めたら「消去済み」と言われたんだって。(笑)  
バラメダカ、給食の時にそと登校。後ろの4、5人が気がついただけ。給食をいただくながら目があった人に、目で「ヤア。チャリンチャリン、私語飲食全て禁止」中の声に、私の存在に気がつく。次回3役発

表。「第64回校長、バツとして間瀬亮太。本日の代役、鈴木武史。教頭、増田みさ子。用務員鈴木祐之。「この前用務員やったヨ」と鈴木祐之メダカ。「いいの、ふたりを照らすのにちようどいい」。(額が広く光ってる)。さすが武史メダカ。間瀬校長の如し・・・最後はみんなで輪をつくって再会を！それにしても「夜の運転が恐ろしくなってきた」の「声」を多く聞くようになってきた。

第64回めだかの学校職員会議を、4月16日(木)磐田市の元氣村「味里」で開く。教頭の増田みさ子メダカは欠席だが、間瀬校長ほか15人が出席。「富士山静岡空港が6月4日に開港だから、それにあったテーマと科目を決めよう」と、今回のテーマは「とびだそう富士山静岡空港」。(富士山しずおか空港の社長は吉岡徹郎メダカ)。静岡空港といえば「立ち木」立ち木からめた内容にしようよと、一時間目、社会「立ち木とスギ」古田賢二郎先生。古事記に強い。二時間目、理科「立ち木と売木と富士山静岡空港」。水島加寿代先生。長野県売木村の地域おこしの応援にからめて。三時間目、美術「立ち木にからまる風、そして大空へ」。石野省三先生。団塊の同世代。風つくりの趣味も生かして・・・第64回は6月5日(金)。旬の食材を使つての「旬の楽膳」。授業ともどもお楽しみに。

## ■毎号、お詫びとお礼と・・・

相変わらず発行日を過ぎてても書けない。頭もややも困つたものです。そんな私を応援の伊藤英雄、鈴木武史、本島慎一郎、間瀬亮太らのメダカさん、ありがとうございます。感謝。

■第17期の申込みの受付を、6月5日の開校日よりはじめます！  
17期は、21年9月1日から22年8月31

日までです。随時申し込みは受付ますが、出席できなかった生徒は、8月31日まで、郵送するか持参してください。16期で継続手続きがなされない生徒は、名簿からはずれ自主退学となりました。なお、継続手続きはいつでもできますので、事務局までご連絡ください。また入学希望者がありましたらご連絡ください。資料を送ります。

## ■お知らせとお願い

村松達雄メダカが、めだかの学校のブログを作っています。めだか生の活動や告知したいことなどありましたら、ご連絡を！  
送付先は、〒437-0216 森町天宮1079の3 村松達雄 TEL0538-855-4037  
メールは、  
《Tazumori@gmail.com》

## ■めだかの学校だよりの原稿を！

次回の発行日は平成21年8月1日、原稿の締切りは7月18日(土)です。事務局まで郵便かFAXで。メールの方は、  
《mabuchi-trd@yr.tnc.ne.jp》  
間瀬亮太090-5009-0986です。  
(メールの方は割付の関係もあるので一報を)。

## ■めだかの学校の事務局

〒438-0105 静岡県磐田市家田529番地20 榎原幸雄方 TEL0539-62-6691 (FAX同じ)  
※学舎「みどりの郷」には電話はありません。連絡・お問合せは事務局へ。

